



慶應義塾大学ビジネス・スクール

女性活躍推進と地域限定社員(C)

5

— 中川恵子のその後 —

「先生、私はこの1月に転勤ありの総合グローバル社員に変更しました。異動希望も申請しました。たぶん4月に転勤で異動すると思います。」

10

中川のこの報告は現実となった。2018年3月にT大学ビジネススクールを修了すると、中川は予想通り4月に転勤することになった。しかし、配属先は中川の予想を超えていた。東京本社営業部課長。社内でも異例の抜擢人事で、このポジションに女性が配属されるのは、実に20年ぶり。

中川が東京に転勤してから1年半が過ぎた残暑が厳しい時分。指導教員山口は、東京出張に合わせ、中川を応援すべく神楽坂で会食の席を持った。

15

東京本社営業部課長の仕事

「お久しぶりです、元気でしたか？ ご活躍で充実してらっしゃる感じが伝わってきますね。東京はどうですか？」山口は、久しぶりに会う中川がとにかく話したいことを聞きたいと思ってたずねた。

20

「先生、お久しぶりです。今は東京本社の営業部で課長をやっています。一年半、あつという間でした。最近、本当にビジネススクールを出ていてよかったと思っています。自力で修了したことが効いてきています。周りからの見られ方が違うのですよ。なんといっても自力で、仕事をしながら、パフォーマンスを落とさず学位取得したので、一目置かれています。東京に転勤して、選択肢や可能性が広がりました。」

25

このケースは実在する中川恵子（仮名）からの全面的な協力を得、彼女の経験を脚色して作成した。謝意を表す。ケースに登場する人物は全て仮名である。ケース作成者は高木晴夫、吉澤康代、鶴ヶ谷理子である。本ケースは無断複製を禁ずる。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 高木晴夫、吉澤康代、鶴ヶ谷理子（2019年7月作成）